

≡*Stax*≡

electrostatic
ear speaker

使用説明書

SR-X MK-2



このたびはSTAXのイヤ・スピーカーSR-XMK-2をお買上げいただきましてありがとうございました。よい音を聴いていただくため、お使いになる前にこの使用説明書をよくお読みくださるようお願いします。

SR-XMK-2は、従来のイヤ・スピーカーSR-1, SR-3, NewSR-3と同じ方法で使用します。つまり、ふつうのステレオ・アンプにつながる時は、ヘッドフォン・ジャックではなく、スピーカー端子にアダプターSRD-7をつなぎ、そのSRD-7にSR-XMK-2のプラグを差し込みます。

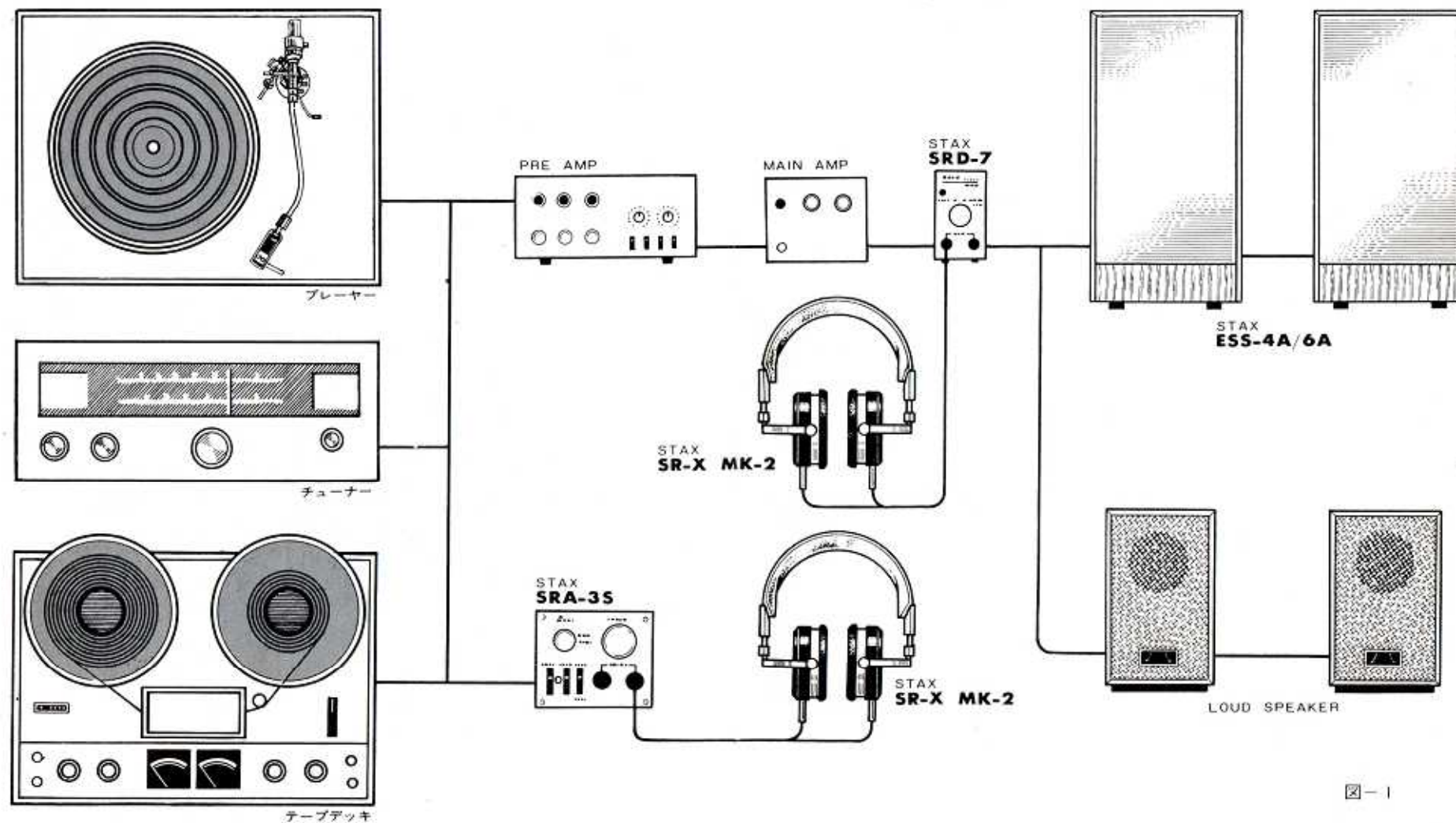
SR-XMK-2は、ふつうのスピーカー或はヘッドフォンにくらべ、インピーダンスが非常に高いので、真空管又はトランジスターによるOTL方式の専用アンプを利用することもできます。SRA-3Sはこの方式の専用アンプで、各種のピックアップ、テープ・レコーダー、FMチューナーにつなげます。音質はたいへん透明で、SR-XMK-2の真価を發揮できるアンプです。(SRA-3Sについてはカタログをご請求ください)。

●SR-XMK-2の構造と音質

SR-XMK-2は、ふつうのヘッドフォンあるいはスピーカーとは原理も構造もまったく異なったコンデンサー型ヘッドフォンです。SR-XMK-2には、コーン紙のような厚く／重い振動板はなく、従ってこれを駆動するためのコイルもマグネットもありません。SR-XMK-2の発音体は、導電化された極薄(2ミクロン厚)のプラスチック・フィルムで、これがきわめて細かいパンチング・メタルでサンドイッチされ、その間に形成されたコンデンサーの力を利用して、入力信号どおりに、歪なく、フィルムを振動させるしくみです。

音の忠実度(入力信号に応じて発音体から音を発生する場合、その間に原波形を歪ませないほど、その忠実度は高くなる)を高くするための第一条件は、振動体の質量が小さく、又その全面均等に駆動力を与えることですが、コンデンサー型はこの点ほとんど理想的な方式と言えます。特にSR-XMK-2は、直接、耳に音を送り込むヘッドフォンであり、部屋のもつ不可避的な歪(極端な山谷および残響の問題)がまったく無いので、コンデンサー型の良さを十二分に発揮します。

音質は、一言でいえば透明、きわめて高い解像力をもっています。従って、プログラム・ソース、ピックアップ、テープ・レコーダー、アンプ等、できるだけ良質のものが好ましく、ピックアップではスタックスのEDPシステム、アンプは同じく専用OTLアンプSRA-3Sが非常に良くマッチします。



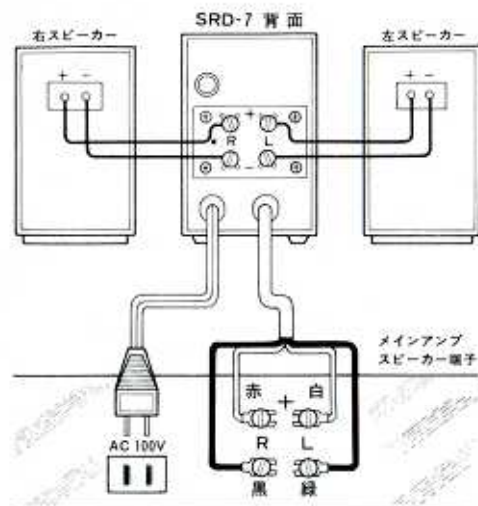


図-2

●接続と使用法

①SR-XMK-2を耳にかける前に

①専用アダプターSRD-7を使用する場合〔ふつうのステレオ・アンプ（出力5W以上、できるだけ高性能のもの）に接続するときは、アダプターSRD-7が必要です〕。

●アンプの電源スイッチを切ってから、アンプ背面のスピーカー端子につながれているスピーカー・コードをはずす。

●SRD-7の入力コード（白/青1組、赤/黒1組）

を、接続図のように、スピーカー端子につなぐ（白=左+ / 青=左-, 赤=右+ / 黒=右-）。

●管球式アンプでは、スピーカー端子が16Ω / 8Ω / 4Ω / 0Ωとなっており、そのときは8Ωを+（プラス）、0Ωを-（マイナス）と考えればよい。

●コード先端のツメをはずして配線するときは、端子間を短絡することのないよう、コードの先端を、アンプのスピーカー端子によくからげておく。

●SRD-7の電源コードを電灯線につなぐ。アンプの電源スイッチ連動ACアウトレット（増設用コンセント）に差し込めば便利。

●はずしたスピーカー・コードは、SRD-7背面のターミナルにつなぐ（スピーカーが必要なければ、このターミナルは遊ばせておく）。

●SRD-7前面の6極コンセントに、SR-XMK-2のプラグを白線を上にして差しこむ。〔図-3〕（左右2個のコンセントは共通）

●これで接続は完了。スピーカーを聴くときは、前面のスライド・スイッチをLOUD SPEAKER, SR-XMK-2のときはそのスイッチをEAR SPEAKERにする。

〔図-4〕

●スピーカーとSR-XMK-2を切換えるときは、ボリューム（音量）を十分に絞ってから、スライド・スイッチを切換えること。

●ステレオ・アンプに2組のスピーカー端子があるときは、2番目の端子にSRD-7をつなげば、スピーカー・コードは はずす必要なし。

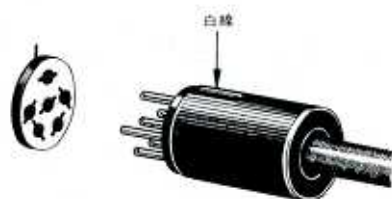


図-3

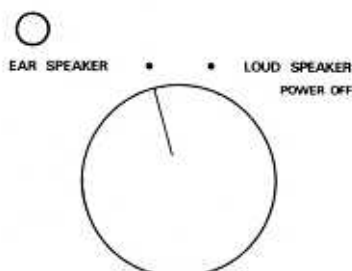


図-4

②イヤ・スピーカー専用アンプSRA-3Sを使用する場合、SRD-7のときのように、出力部の接続変更は必要ありません。（詳細はSRA-3Sのカタログをごらんください）。

㊦SR-X_{MK-2}を耳にかけるとき

①ヘッド・バンド(つる)はだれにも合うように設計され、調節の必要をなくしました。

②左右のスライド金具(つの)は広範囲に上下できるので、ご自分に合うよう調節してください。

③そのとき、耳当パッドの音道(中央のアミ目)位置ですが——、これが前後あるいは上下することで音質が変わります。ご自分の好みどおりで差支えはないのですが、図-5のような位置にすると、最もよい結果がえられますのでお試しください。



図-5

④SR-X_{MK-2}の振動膜は2.0 μ 厚という極薄のフィルムですから、耳にかけるときは、本体を抑えつけないよう、ていねいにお取扱いください。

㊦SR-X_{MK-2}を耳にかけてから

①SR-X_{MK-2}は周波数特性がフラットなので、トーン・コントロールによる低音・高音の強調は不要です。

②SR-X_{MK-2}は歪感がないので、つい音量を大きくしがちですが、過大入力を加えないようご注意ください。

③高音域にノイズ(テープのヒスやレコードのスクラッチ)が目立ったり、低音域にノイズ(ゴロゴロいったりゴーッという連続音)がきこえるときは、そのプログラム・ソース、ピックアップ、ターンテーブル、テープ・レコーダー、アンプなどに問題がないか、おしらべてください。

㊦SR-X_{MK-2}を使わないとき

①使わないときでも、プラグをアダプターやアンプのコンセントから引抜く必要はありません。

②使わないときは、布かビニールでカバーして、ホコリを避けてください。

③避けて頂きたい置き場所は、アンプのような発熱体の上、暖房機器のそば、直射日光の当る場所などのような高温のところ、それと湿度の高いところです。

㊦SR-X_{MK-2}を使うとき便利なもの

①SR-X_{MK-2}のコードは、線間容量を小さくする必要から、現在の太さ/長さに設計されたもので、もし長さを伸ばしたいときは、長さ5mの延長コードSRE-15(別売)をお使いください。

②SRE-15は、コンセント・ボックスSRE-B3(別売)を併用すれば、SR-X_{MK-2}を3組つなぐことができます。

㊦SR-X_{MK-2}の専用アンプを自作するとき

①専用アンプとしてSRA-3Sがありますが、この回路は自作困難なので、自作のときは、図-6のような管球式OTLアンプをおすすめします。

②この回路の特長は、+電源の使用により、出力管プレート電位をほぼ±0Vにして、イヤ・スピーカーとの間に結合用のCRを除き、できるだけ直結を活用してあることで、音質もすぐれています。

③この回路は指定どおり組めばまず問題はなく、VR(5K-B)は中点におき、終段プレート電位が10V以上も差があるとき、上下いづれかに動かして調整します。

④このアンプの規格は、最大出力/280V、増幅度/52dB、入力感度/250mVです。

⑤アンプに必要な6極コンセントSRCは別売していますのでお求めください。

⑧SR-X_{MK-2}それは……

加えられた入力信号を歪感を伴わずに再生する、忠実度のきわめて高いイヤ・スピーカーです。これは言い換えれば、アンプ以前の段階で歪を発生しないよう、できるだけ性能のよいパーツを使って頂きたい、ということです。そのとき、SR-X_{MK-2}は、今まで実現できなかった《音のマイクロコスモス》を、あなたにお聴かせするでしょう。

●規格

SR-X_{MK-2}

- 型式=エレクトロ・スタティック（静電）型プッシュ・プル方式
- 周波数範囲=30～25,000Hz以上 ●静電容量=120pF（附属コードを含む）
- インピーダンス=130kΩ / 10,000Hz ●音圧感度=95dB / 入力100V_{r.m.s.}
- 最大出力音圧=115dB ●成極電圧=200V, D.C.
- チャンネル表示=左(L), 右(R) ●耳当パッド=ソフト・ビニール製, 交換可能型
- ヘッド・バンド=18-8ステンレス製, 全長可変 ●重量=370g. (ヘッド・バンド90g, コード85g.を含む総重量)

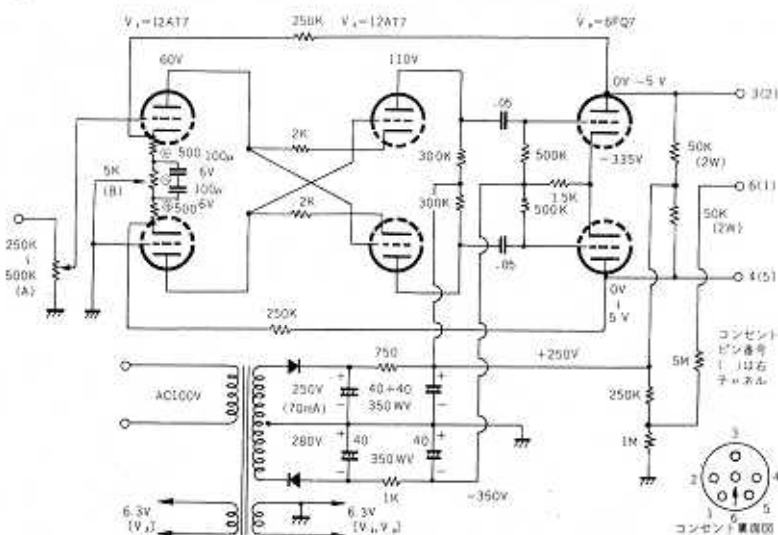


図-6

●耳当パッドの手入れ／バネの強さの調節

■パッドはアルコールを軽く含ませたガーゼで清掃します。汗の対策にはガーゼを1～2枚あてがうと効果があります。パッドが破損したときは、古いパッドを剥がしてから、交換用パッド（別売）を接着します。このパッドには粘着テープが接着しており、テープの被覆を剥がして、パッド・ベースに押しつけるだけで、容易に接着できます。

■バネが強すぎる場合には、2本のバネを耳の近くで軽く外側へ曲げればよいのですが、弱すぎると不安定になったり、低域再生能力が悪くなるので、試しながら、少しづつ曲げるようにしてください。

■品質管理には十分注意しておりますが 万一不調の場合には 本社又はお買い上げ店に直接お持ちいただくか お送りください。郵送の場合は 必ず元の箱に入れて その箱をひとまわり大きなダンボール箱にパッキングと共につめてから お送りくださるようお願いいたします。



スタックス工業株式会社
東京都豊島区雑司が谷1-25-5
郵便番号 171
PHONE 03(981)-722700